











たんまり儲けた西鮮の鑛山業者が

當業者と釜山商議

百八十八名の死亡者を出し

軍の定員も最盛の十四人となる  
 は間違ひないとみられてゐる  
 お天氣師補る

白名に達す

少年の細腕で

殆んど普校で生産される

評判のよい渭原硯

羅津の人口

一千人減之

(江野) 國名物として生息は勿  
 餘内地、兩洲まで知られてる。謂  
 阪靚は謂阪の所を知らずと視たに  
 暇はせよと云ふが、この名物の生息  
 が大部分、作られたものでなされて  
 る。謂阪へ神代文を資料徴査に  
 以て、上力を入れ、謂阪生と在成生  
 につけて、世に當りて、謂阪は、  
 謂阪生、謂阪の六調を結ぶる。

[illegible]

れ各に筆注してゐる。隨筆  
にかが脚とが註とかいふ、  
なつて居つた。由來此月は  
の月であるがために、上は  
来るさきにも亦、年の幸に  
をなし、又その年不幸に  
に於ける随天始輪（観）り  
吉米豊稔の望（イサ）  
何にしても神聖の望（イサ）  
同様に、是はもと後故の  
を受けたりが多い。觀上  
ズム、昔者が高いものばか  
の比喩觀察上、誤に面目  
りか、その嚴肅的時代から  
る佛敎的なものも土著風儀  
をして居る串が上れとも同  
行事をも習慣の上へやは  
事項が多い。

にやがて、同様に解釋を要する下へべき

[illegible][illegible]

朝鮮に於ける歳末年始の諸行事に就て

(午後六時廿五分) 加藤 濯覺

朝鮮では十二月の別名を臘月と呼んで毎年冬至の日から第三番目に當る末の日を臘平日と定めた。そしてこの日に

の流行歌好きと知つてゐるので之も流行歌の替歌でうまく斷る、次が酒屋の番頭、之が大の芝居氣遣ひと來てゐるので番頭を上使に見立て、芝居掛りで云ひ譚をするので番頭さんすつかり喜んで歸つて行

[illegible]

二、(イ)ふりつ底(ロ)長江の四季(ハ)嘆きの丘  
普良井秀 夜の聲景 潮戸口藤吉  
伊奈 日本ボリドル・管絃樂團 東芝ラヂオ・エケストラ  
三、(イ)白鳥の節(ロ)飛燕集 指揮 潮戸口藤吉  
伊奈 放送(東京)芝罘・寺より中  
三、(イ)白鳥の節(ロ)飛燕集 振(京都)花園妙心寺より中継

**講演**  
(D)より全國中継

の好きな物で云ひ謝をして断る  
待ちかまへてゐる、其處へやつ  
來たのが家主、家賃の催促に來  
るが此人大の狂歌好き、早速自分  
の狂歌を狂歌によんで云ひ謝をす  
るので大家さん仕方なく歸つて行

本町  
 丁卯  
 三月五日  
 朝日座  
 毎旦正五時より開演す  
 名一座は特選の面白物を揃へ元  
 より華やかにして観望す  
 二時と勉強な

(四)大馬路  
三味線  
同小政一取  
同玉喜美子  
同千美生駒  
同代香生駒  
同蠟燭  
同二樽五分(其)  
洋樂作徐

語落合  
 一分五時零秒  
 日晦大の  
 路燕亭  
 此の大晦  
 日に諸方  
 へ拂ふ金  
 が無い爲  
 め亭主に

春一月元日より花々しく開演  
浪曲外のことばを練美曲の所合  
本五回  
丁目  
城演藝館  
日本獅子一行  
女流浪曲の花形

政ニヤス	再收買	三昧謝	政ニ	奴
(一)時(車)	移動状況	同	美代子	
窟泉景	放置自動車	洋染伊奈		
(一時)(車)	歌謡曲	(ロ) 擲子の薬陰	小	
千鳥むすめ	唄	洋染伊奈	清	
三昧謝	政子	洋染伊奈	和子	
同	小とく	(ハ) きぬた顔	同	
洋染伊奈				

の鐘が鳴り終ると頭ましくスタ  
トを切つて走り出しました。犬  
いつまでもく頭ましいあのし  
の後姿を見送つて居りました

高岩 三才  
 特作 現代版  
 原作 陶山 密  
 監督 仙太郎 撮影 野村吳  
 監製 藤田 仙太郎  
 會社 社員 閣下  
 出 野村 三才  
 監製 藤田 仙太郎  
 監督 仙太郎  
 原作 陶山 密  
 特作 現代版  
 高岩 三才  
 新聞 松竹 第一九六輯

八時二〇分(大)	漫才 朝から 八丈 竹幸	三味線 三代 吉
八時三十分(大)	狂言 出羽助 桂 圓枝	同喜 美榮
八時三十分(大)	落語 道昌 桂 留文左	伊奈 コロムビアケステラ
九時(大)	浪花節 新川 歸り船	四(イ) 紙芝居のボレロ(ロ)
九時三〇分(大)	時鐘 ニュース 柳井 三郎	知らぬ他國で(ハ) 僕の失態
		五(イ) 廻り奴
		伊奈 日本ビクター 管絃樂團

「君の昔の失敬譚を話し出しました、落ちつき拂つたものしは、自分の身の上話や自慢話をゆつくと大にきかせ、」聰明で公正な無定見な猪突でなく、

十八日より四日間  
 船走の最後を飾る松竹博作名番  
 組大御所金陣下北二十餘  
 太夫口替作時代劇  
 川原右太衛門 監有 古野英治  
 鳴平旗ころも 主演  
 嵐 天野 大原田 鶴子  
 五子 天野 大原田 鶴子  
 嵐 天野 大原田 鶴子

講談 御膳に於て、幾歳年如の  
 活潑に遊んで、加藤 麗光  
 七時 三十分 ニュース 天宮晴郎  
 七時 三十分 (中) 講談 幾歳の  
 恋 永田秀太郎  
 忘年大衆演藝の夕  
 八時 (東) 漫談 笑取り  
 零時 期門寺から交五撞  
 き出され目八鐘が終る頃、都  
 からの近音を響る頃びナ  
 ウンスメントでこの本年最後  
 の放送が終了するのである  
 吾何(一) 睡れて逢ふ夜は

「来年度のしゝ君の力でうまく  
かなあ」と危ぶみながらあの

新  
イデットフー・テツス社提供  
監督：ラウル・ウオルシュ  
ウオレス・ピエリ！  
ジョー・ラファ  
ジャック・ターバ  
**ハワリイ**（阿修街）  
三大スターの大競演  
萬佛眼の大作！

順斎母早經天 櫻亭 燕齋  
 寺主の女房おきよ 柳家さね江  
 三河屋の主人 桂 鶴次郎  
 米屋の番い 日の家鏡治  
 草話 犬と猪 大石 照平

鐘の  
 (時等前午)  
 りよ寺  
 りよ寺心妙  
 檀越 寺の 壇上  
 それとが 檀越

で、先づ東京から初めてのアナ  
 日ここの

成)年の昭和九年もおしまひになつて明日からは犬に代つてのしゝ(亥)がこの年を愛持つことになりました、十二月三十一夜——どこか山奥で犬は

二日三日は連夜参同興行續行  
午前十一時開船  
●O轉作喜劇日本版  
演習：ワイリヤン・オサイター  
ロバート・フイタル  
ロバート・ウィルチー  
頓珍外交セネバ行  
題目 世界ニュース  
(トリー日本版)  
元

**第一放送**

時報 今日のプログラム  
 時報 五時五分 気象通報  
 ニュース  
 午後三時 協会新聞 噴家の  
 所  
 午後四時 時事新報の特集

---

**除夜**  
 (送元二)  
 上増京東  
 都京  
 宗大 聖天 京之 士 東

**犬とゐのし**

時 間 三〇分  
時 間 四〇分  
唱 劇 珍 瑩  
吳 太 石  
趙 雲 漢  
張 成 亥  
田 香 骨  
陸 三 〇 分  
時 四 〇 分  
唱 劇 珍 瑩  
吳 太 石  
趙 雲 漢  
張 成 亥  
田 香 骨

（午後六時）

洋明三 花うら

浪花館

三十二日(月)  
 D K  
 ラヂオ  
 曜七かくりし昭和六年の逝く  
 年を、懐懐深く送り、多事であ  
 った一年を思ひ、除夜の鐘に  
 名残りを惜まう。  
 今晚、除夜の鐘はDK、AK  
 の三放送の珍しい組合せで  
 午 同 同 同 同

第二放送

時五〇分	ピアノ獨奏	金 潤 情
時 五 分	產婆ニユース	忠信學院
時二〇分	一九二四年歐戰	興成龍

第二

松本 第一週(三十一日晝から)  
オ 九五九  
蒲 九五九  
森 九五九  
5 九五九  
室 九五九

[illegible]

大日本薬業株式會社 大正十一年四月一日 東京市丸の内區本町二丁目 發見創製

# らい病新治療劑

△注射と内服錠劑ヒドノコール

△本病は最近不治であつた理由  
 △肺病は最近不治であつた理由  
 △肺病は最近不治であつた理由

△本病は最早難治で無い理由  
 △肺病は最早難治で無い理由  
 △肺病は最早難治で無い理由

△富研先所の研究  
 △富研先所の研究  
 △富研先所の研究

大正十一年四月一日 東京市丸の内區本町二丁目 發見創製

高木化學研究所

新賣場

意匠

No. 117 ¥80  
 No. 117E ¥100

レターポアビムコフ

低廉

No. 203 ¥35  
 No. 204 ¥35

レターポアビムコフ

音質

No. 212 ¥55  
 No. 109 ¥60

レターポアビムコフ

大正十一年四月一日 東京市丸の内區本町二丁目 發見創製



